

第4章 グランドデザインの展開による期待される効果

(1) 立川駅南口地域の活性化

●地域との連携で広がる市民活動の輪

- ・ 本地域に導入する機能は、住民等が施設運営を担う主体的に担っていく活動・連携の場として整備される。
- ・ 市民活動が次第に活発化し、実績が積み重ねられていくプロセスでは、プロポーザル・コンペや施設のオープンなど節目にイベント化する機会を増やし、効果的な情報発信にも努めることにより、活動の輪を徐々に周辺地域に広げていくことができる。



◆市民ギャラリーやスタジオ：趣味や活動成果の発表



●市民や市外来訪者でにぎわう南口地域

- ・ 本地域の活動が活発になっていくと、周辺地区だけでなく、駅寄りの人々も駅側とは異なる本地域のイメージを理解するようになり、訪れる人も徐々に広がりが見られるようになる。
- ・ その結果、現在のように駅から遠くなるほどに弱くなる人の流れから、駅と本地域が相互（双方向）に行き交う人の流れへと変化していくようになり、南口地域全体としてのにぎわいの広がりが期待できる。



◆パフォーマンス



◆ホール前の広場：事例
府中の森芸術劇場前に東京中の吹奏楽部の生徒が集合



◆青空コンサート
：イベントスペース
市民や学生が参加

●市民利用にとどまらない広域的な展開

- ・ 本地域のまちづくりの成果が見えるようになってくると、その意欲的・挑戦的な試みに対する注目度がさらに上がってくる。
- ・ 導入された機能が、その規模や施設内容からみて周辺地域を対象にした施設であっても、その存在が多摩地域、さらには全国にも知られることとなり、立川への来訪ついでに“ちょっと寄ってみる”段階から、本地域を来訪目的として、広域から訪れる人が増えてくることも期待できる。

(2) 住んでみたくなる都市居住ゾーンの形成

●安心して子育てできる生活環境

- ・ 本地域は、市民アンケートの結果を見ても、閑静なまちというよりも一戸建てとマンションが共存し、オフィスや店舗も立地する街としての期待が高い地域である。
- ・ しかも、本地域には地域医療の拠点となる大規模病院が立地するとともに、現公園に隣接して市民交流広場の整備を予定しており、安心して子育てできる生活条件が十分整っている地域である。
- ・ 交通結節点立川駅から徒歩圏の好条件を活かして、地域及び周辺を都市居住ゾーンとして整備することにより、地域を支える子育て世帯の増加が期待できる。



◆木陰で語りや読み聞かせ：一人で読書も



◆安全なオープンスペースの確保

：地域の防災性向上に貢献

●暮らしの安全を支える地域コミュニティ

- ・ 地域づきあいのきっかけは、子どもを通じてのことが多いといわれる。従って、子育て世帯の増加により、地域を支える力を強くすることが期待できる。
- ・ また、子育て世帯の増加によって高齢化が進む地域の人口バランスを是正することになり、その点からも地域のコミュニティの強化が期待できる。



◆都市型住宅

：良質な都市居住ゾーンの形成を先導

(3) 環境にやさしい地域の形成

●オープンスペースと緑化

- ・ 立川共済病院の桜等の既存樹木を保全しながら、緑に囲まれた施設の立地や小広場も含めたオープンスペースによる憩いの場づくりにより、近くにある立川崖線に沿った矢川緑地（緑地保全地域）などの地域の貴重な緑と水の空間を活かして、地域全体として緑が豊かで環境に配慮した市街地の形成が期待できる。

●環境に配慮した施設

- ・ 公共公益施設や事務所、病院などのエネルギー多消費型の施設については、その計画、建設、運用を一体的に捉えてライフサイクルコスト（LCC）の低減に取り組むとともに、地球環境に配慮（地球温暖化対策や省エネ・省資源化等）した技術の総合的な活用により、低炭素社会の実現を目指した建替えや施設建設を先導的に行い、周辺地域において環境に配慮した建物づくりを広げていくことが期待できる。